

平成28年度「黒岩知事との“対話の広場”地域版（湘南会場）」参加者意見一覧

“対話の広場”地域版（湘南会場）では、当日のご発言以外にも、参加者アンケートにてご意見を頂戴いたしました。いただいたご意見・ご感想を以下の通りまとめました。（ご意見・ご感想は要約してあります）

スポーツと健康に関すること

- ・若い人から見たスポーツと、お年寄りから見たスポーツは違っていて、どうやって幅広くスポーツを愛して、実践するかが考えどころだと思う。（清川村・男性）
- ・運動を続けることが難しい。だんだん嫌になったり面倒くさくなったりしている。何かアドバイスがもらいたい。（横浜市・男性）
- ・運動が苦手だが、今日の知事の話聞いて、1日10分でも20分でもいいから歩こうと決めた。今日、話した内容を家族に教え、家族みんなで藤沢市のようなプラス・テンを実行していきたい。（真鶴町・女性）
- ・このテーマを見て、高齢者の方が若者よりスポーツに取り組んでいるのではないかと、スポーツ不足な傾向にある子どもは大丈夫かと思った。自分の高齢の母も毎週公民館で卓球を楽しんでいて、運動だけでなく人とのコミュニケーションもとれてとても楽しいと言っている。そういうスポーツをする場がたくさんあれば良いと思う。また、ケガの防止のため、準備運動が大事だと思う。準備体操を広く浸透させてほしい（平塚市・女性）
- ・身近なところに活動できる環境があれば参加したいが、ME-BYOハウストラボが平塚にもできないか。（平塚市・男性）
- ・子どもの頃から運動した方が良いと言っていたが、家の近くに公園などの運動する場所がない。改善してもらえるか。（横浜市・男性）
- ・平均寿命は延びているが、健康寿命がなかなか延びていないのが現実である。運動はそういう問題にも対応するというタメになるお話がありがたかった。知事も毎朝走っているということもとても身近に感じた。祖母が体をこわし、運動するのが難しくなった。いつまでも元気でいてもらいたいので、このようなハンデを抱えた高齢者にもできる運動があれば聞いてみたいと思った。（茅ヶ崎市・女性）
- ・今日の事例発表を聞いて運動の大切さを改めて知った。私もプラス・テンを実践したいと思った。（寒川町・女性）
- ・小さい時から体を動かすことが大好きで、中学生の時はバレーボールをやり、今は毎日縄跳びとジョギングをしている。みんなでわいわい運動するのが好きで、夜に母を誘って走ろうと言うのだが、まったく乗り気でなく、結局父が自転車で併走みたいな結果になる。運動をすることに乗り気でない人にどのような声かけをすればいいのか。（茅ヶ崎市・女性）（ほか類似意見1件）
- ・プラス10運動はわかりやすく、すぐ実践したい。立って仕事しているWHOは良いアイデア。CHOの県庁で推進してほしい。（平塚市・男性）
- ・今まさに“未病”に対して対策を組んでいるが、知恵を出しても、なかなか現実とのギャップがある。どうしても財源、財力が必要となってしまう。それでも何かできることがあると思ひ、日々励んでいる。（二宮町・男性）
- ・未病という概念を考え、意識することが健康長寿の実現につながるということが再確認できた。健康を英訳すると、ヘルス=Healthが思い浮かぶが、スポーツを通じて健康増進を図り、社会参加を積極的に行うことで豊かな人生を過ごすことは、Wellnessという概念に近いと思う。神奈川県が未病改善を進める過程でWellnessの大切さを訴求していただきたい。（茅ヶ崎市・男性）
- ・ME-BYOハウストラボのことまで聞けて良かった。（平塚市・女性）
- ・3033運動の話をもっと具体的に聞かせてもらえる機会があるとうれしい。（藤沢市）
- ・いわゆるスポーツの習慣づけにとらわれず、「家の掃除の手伝いで体を動かす」、「洗濯物を干すの手伝って1Fから2Fへの階段の昇り降りをする」、「スーパーに歩いて買い物に行き荷物を持ってあげる」など、日常生活の中で、体を動かすことをしてほしい。（平塚市・男性）
- ・社会人になると、時間がない、仕事が大変などでなかなか運動ができない。そのために、企業で月1回くらい運動する、させるという機会を作るべきだと思う。まず公務員、県庁、市役所、政治家から始めたらどうか。（足柄上郡）

- ・神奈川県は自然豊かな地域が多いので、そういった環境でスポーツやアクティビティをして、健康である状態が維持されるような社会ができると良い。体を動かすことだけでなく、心の健康を維持するような取組みも同時に必要だと思う。知事の話にもあったように、自分の運動量をはかるため、客観的に知るための活動量計などはもっと一般に知られると良いと思う。医療費の負担を減らすためにも、健康に関する教育を高齢者にした方が良い。若い人が高齢者を支える負担を拒むような社会の雰囲気になる前に、対策が必要。（横浜市・男性）
- ・健康には気をつけているつもりだが、県や地区の取組みにはあまり関心がなく、具体的に参加したことはない。今年、初めて湘南マラソン大会に参加するので、これをきっかけに、個人としてだけでなく自分の住んでる地区の取組みに興味を持たら良いと思った。（横浜市・女性）

その他

- ・茅ヶ崎ゴルフ場の再開発に当たり、ゴルフ場をゴルフだけでなく、公共性のある有効利用を考えて頂きたい。再度、ゴルフ場の開発事業者を募集する時には、地域住民の健康を考え、自然を残した形の提案を残して欲しい。（住所性別不詳）
- ・50年街と共にある茅ヶ崎ゴルフ場は、住宅街の中にある希少な環境、6割が県有地ということもあり、ゴルフ場の芝生は市民に開放され、スポーツと健康長寿イベントだけでなく、緑の環境を住民は愛している。また、県で最大の延焼火災地帯の広域避難場所に指定されていて、健康、みどりの環境、命を守る場所の3つを住民6万人に与えてくれている。なぜ、このような貴重な場所が県によって開発されるのか。私たちは健康、みどりを失い、命を守る広域避難場所も失うのか。（茅ヶ崎市）